

第20回うらじゃ各演舞会場 大盛況—会場毎の特徴づけがすすむ—



おかやま

うらじゃ新聞

うらじゃ新聞

第0001号

発行所
うらじゃ実行委員会
演舞部会

*うらじゃ振興会

うらじゃオフィシャルグッズ販売中!

グッズショップ
<http://uraja.cart.fc2.com/>

第二〇回うらじゃ

野田屋町公園演舞場3周年

岡ビル北側に隣接する野田屋町公園では、第二〇回うらじゃにおいて演舞場を開催した。新たな演舞場として開場してから3年目になる同会場は演舞部会で演舞場を企画設置運営した経験のあるボランティアが集まる。言わばOBの集える演舞場だ。学校を卒業した学生や、県外へ引越したボランティアが帰ってこれる演舞場があるといいのではと、今年で3年目を迎えた。

経験のあるスタッフが比較的多く、安心して運営をお任せできる演舞場でもあると、実行委員

第20回うらじゃを振り返る



H25年8月3日子ども演舞場出演前の「もぎたてコール」うらじゃ編の撮影の様子

第二〇回うらじゃ 新演舞場は二会場

下田町公園演舞場は第二十回で新設された演舞場だ。場所は北区中央町に位置する。公園名は町名変更前の「下田町」を残している。広場を中心に遊具広場、トイレ、「冠正稲荷大明王」が祀られている。百人が踊れる演舞場をと新設され、舞台設置型の大型演舞場だ。舞台の広さは下石井公園演舞場と同等の広さだ。フリーエントリ方式とあつて多くの踊り連が予約待ちを

岡山駅前商店街演舞場は、桃太郎大通りに手作り案内看板設置。観客に座る場所をと、ビール箱をひっくり返して手作り棧敷席。集客アップをと、会場担当者は、東京、バンコク、ホーチミンでもPR活動と、あの手この手。

ひかりの広場NHK演舞場は今年新設された演舞場だ。NHK岡山放送局が入居しているリットシティビル2階にあるガラス張りの部屋だ。午前は子ども演舞場として、午後からは一般のフリーエントリ演舞場として開催された。「もぎたてコール」うらじゃ編を収録するとして撮影場所を設けてNHKが撮影をしていた。ちびっ子たちも沢山参加しておりカメラを持った保護者も多く訪れていた。

JR岡山駅西口駅2階タクシー乗り場前の演舞場が開場された。3年目。野田屋町公園演舞場と同時期に新設演舞場として設置。現在は、さんすて西館がオープンし、買い物客の目にもとまる演舞場となった。

岡山駅西口2階大屋根演舞場も3年目

「木札はテーマ色」演舞場ごとに彩鬼として木札を贈呈している。第二〇回うらじゃでは演舞場毎のテーマ色に合わせた九色のデザインを採用した。



(上)H25年7月3日登録証の様式決まる

第20回うらじゃ子ども演舞場出場記念

(左:完成版7/5) (右:手書原案6/30)

缶バッチのデザインは演舞部会コア

「ボランティア不足」演舞部会は本祭当日のボランティアの募集に苦慮している。募集希望人数に足らず、演舞会場を掛け持ちで担当したり、他の部会へ応援を依頼するなどして対応している。

「登録証の取扱い変わる」うらじゃの演舞場で踊るには登録証が必須。登録証は踊り連に一枚交付される。第二〇回うらじゃでは演舞場での受付完了後は直ぐに登録証の返却を受けられることとなった。これにより次に踊りたい演舞場へ演舞受付に行くことが可能に。大方の意見は便利になったとのことだが、人数の少ない踊り連では運用しにくいと